

# 第 1 学年 国語科学習指導案

1 年 3 組 3 1 名  
指導者 宮 本 真 理 子

## 1 単元名 「おはなしどうぶつえん」であそぼう

## 2 単元設定の理由

1 年生の学習者は、保護者や教師による読み聞かせはもちろん、自分で絵本を読むことも大好きである。生き物に対して非常に強い興味・関心をもっているため、特に動物が出てくるお話には親しみやすく、登場人物と共にお話の世界に住み、共に喜びや悲しみを味わうことができる。これまでの国語学習の中でも、いくつかの文学的文章に出合ってきた。「おむすびころりん」では、リズム感のある音読の楽しさを、「大きなかぶ」では、繰り返しの物語のおもしろさを、「くじらぐも」では、空想の世界に遊ぶ楽しさを味わい、物語の世界に浸る心地よさをそれぞれの学習材の中で経験している。

そこで、これまでに培ってきた読みの力を定着させ、読書の楽しみと親しみをさらに広げるための学習として、本単元『「おはなしどうぶつえん」であそぼう』を設定した。「ずうっと、ずうっと、大すきだよ」は、主人公「ぼく」と愛犬「エルフ」の心の交流を描いた心温まる物語である。子犬のときから一緒に大きくなったエルフが年をとって死んでしまう。その悲しみの中でも、「エルフ、ずうっと、大すきだよ。」と言ってやっていたことで悲しみがやわらぐことになる。「これからもしほかの動物を飼っても、ずうっと、ずうっと、大すきだよと言ってやろう。」そう心に決める優しさが、この作品のテーマになっている。しかし、ここではテーマに迫ることのみを追求するのではなく、学習者が登場人物の心情を豊かに想像し、主体的に作品を楽しみながら読み進めていくことを大切にしたいと考えている。お話のおもしろいところや好きなところを見付け、紹介し合う喜びを味わうことで、読書への意欲を喚起したい。そして、次に設定した、好きな本を選び、友達に本を紹介する場へと結び付けたい。紹介カードを作って発表し合い、さらには紹介してもらった本を読み、よさを感じ、「おはなしどうぶつえん」で遊ぶ楽しさを十分満喫して、紹介してもらった喜びを伝えられるようにしたい。

本時は、単元の 5 時間目にあたる。物語に登場する「エルフ」とそれを愛し続ける主人公「ぼく」の心情に寄り添い、温かい心の交流に視点をあてることによって、つながりの深さに気付かせたい。学習者自らが主体的に読み進める中で、それぞれが感動したことを大切にし、次の読書意欲へとつながるよう支援したい。

## 3 単元の目標

### (1) 学習者の活動目標

「おはなしどうぶつえん」であそぼう。

### (2) 指導目標

易しい読み物に興味をもち、楽しみながら本を読もうとすることができるようにする。

読んだ本の紹介や感想を分かりやすく話したり、本の紹介を思いをもちながら聞いたりすることができるようにする。

自分の好きな本を選んで、観点に沿って紹介文を書くことができるようにする。

場面の様子や登場人物の行動などについて、想像を広げながら読み、好きなところやよかったところを見付けることができるようにする。

#### 4 本単元における評価について

能力	評価規準	子どもがことばの力を身に付けた姿の一例	評価の資料
関心・意欲・態度	易しい読み物に興味をもち、楽しみながら本を読もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「十分に満足できる」状況 自分の読みたい本を見付けて積極的に手に取り、いろいろな読み物を楽しんで読もうとしている。</li> <li>・「おおむね満足できる」状況にするための指導 本が探せない学習者には教師と一緒に本を選ぶなどして、個人の力に応じて読書が楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・読書の様子</li> <li>・学習の記録</li> </ul>
話す・聞く能力	読んだ本の紹介や感想を分かりやすく話したり、友達の本の紹介を思いをもちながら聞いたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「十分に満足できる」状況 自分なりに工夫しながら、わかりやすく本の紹介をしたり、友達が紹介する本に関心をもって、初歩的なメモをとりながら聞いたりしている。</li> <li>・「おおむね満足できる」状況にするための指導 人前で話すのが苦手な学習者には、教師が側について練習し、友達が紹介する本の聞き方を示した手引きを用意したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・メモ</li> <li>・学習の記録</li> </ul>
書く能力	自分の好きな本を選んで、観点に沿って紹介文を書いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「十分に満足できる」状況 好きなところや好きなことばなども紹介し、友達に本のおもしろさが伝わるよう工夫しながら紹介文を書いている。</li> <li>・「おおむね満足できる」状況にするための指導 書き方が分からない学習者には、手引きを用意したり、教師と一緒に考えたりしながら、簡単な紹介文を書くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介カード</li> <li>・書いている様子</li> <li>・学習の記録</li> </ul>
読む能力	場面の様子や登場人物の行動などについて、想像を広げながら読み、好きなところやよかったところを見付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「十分に満足できる」状況 登場人物の気持ちを考えながら物語を読み進めることができ、好きなところやよかったところについての感想や考えをもっている。</li> <li>・「おおむね満足できる」状況にするための指導 挿絵に描かれた場面、人物の様子や表情を手がかりにすることによって、登場人物の気持ちや場面の様子を想像し、好きなところやよかったところが見付けることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・学習の記録</li> </ul>

## 5 学習計画（全12時間）

学習活動と指導（ ）	学習者の意識の流れ	身に付けさせたい力
<p>1 「おはなしどうぶつえん」で遊ぶ計画を立てる。（1時間） 日常の読み聞かせによって動物が登場する物語への関心を高めておく。</p> <p>2 「ずうっと、ずっと、大すきだよ」を読んで感想文を書き発表し合う。（4時間 本時4 / 4） モデル学習として「ずうっと、ずっと、大すきだよ」を取り上げることにより、物語の読み方や紹介の仕方を学ぶことができるようにする。</p> <p>3 好きな物語を読んで紹介文を書き発表し合う。（4時間） 学習者一人一人の関心の向きなどに応じて物語を選ぶことによって、それぞれの物語のよさをとらえることができるようにする。</p> <p>4 「おはなしどうぶつえん」を作る。（1時間） 登場人物の人柄などに注目させることによって、動物園の中に物語のタイプ別ゾーンを設けることができるようにする。</p> <p>5 できた「おはなしどうぶつえん」の物語を読んで、動物園作りの感想を発表し合う。（2時間） 互いの紹介文や紹介した本のよさに目を向けさせることによって、今後の読書生活がより豊かになるようにする。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>先生が読んでくれたネズミくんの本っておもしろいね。</p> <p>動物が出てくる物語をたくさん読みたいな。</p> </div> <p>「おはなしどうぶつえん」が作れそうだ。みんなで作って遊びたいな。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">うまく作れるかなあ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">楽しい動物園にしたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">犬の話なら知ってるよ。</div> </div> <p>「ずうっと、ずっと、大すきだよ」を読んで、物語の好きなところをみつけよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エルフが死んでしまうのがかわいそう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ぼくはエルフのことが大好きだったんだな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エルフもぼくが大好きだったと思うよ。心が温かくなる話だね。</div> </div> <p>こんないいお話があるんだね。他にも動物の出る物語を読んで「おはなしどうぶつえん」で紹介したいな。どんな物語にしようかな。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ネズミくんもりんごが食べられてよかったね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ネコさんはひとりぼっちになってしまったかわいそうだな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">他の動物に優しいオオカミだとわかってもらえてよかったね。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ぼくが一番心に残ったところを紹介文に書こう。練習もしなくちゃ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みんなによく分かるように大きな声で発表するよ。</div> </div> <p>動物の物語がたくさん集まったね。いよいよみんなで「おはなしどうぶつえん」を作ろう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">うれしいな。ぼくの紹介した本が動物園に入ったよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同じ動物でも、楽しいのや優しいのや悲しいのがいるね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わたしは、今度優しいオオカミの出る物語を読みたいな。</div> </div> <p>友達が紹介してくれた物語を読もう。</p> <p>紹介してくれたとおりおもしろかったよ。友達に読んだ感想を手紙に書いて伝えよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わたしが紹介した本を読んでくれてうれしいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">友達が「紹介してくれてありがとう」って書いてくれたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">動物の物語を読んでもよかった。</div> </div> <p>本を読むのって楽しいね。他の物語を読んで、またみんなに紹介したいな。</p>	<p>[読] 具体的な表現から想像を広げて読む。（発言・感想カード）</p> <p>[読] 文の好きなところやおもしろいところを見つける。（発言・学習の記録）</p> <p>[関] 興味深い本を楽しんで読む。（読書の様子）</p> <p>[書] 説明や感想を短い文章に書く。（書いている様子・紹介文）</p> <p>[話・聞] 実物や絵・写真を見せながら話す。（発言・メモ）</p> <p>[読] 友達の感想や意見などにふれる。（発言・学習の記録）</p> <p>[関] 生活の中で、読書をする習慣を身に付ける。（読書の様子・発言・手紙・学習の記録）</p>

## 6 本時の学習

### (1) 本時の目標

#### 学習者の活動

「エルフ」と「ぼく」の心のつながりを見付けよう。

#### 指導目標

登場人物の気持ちが分かる叙述や挿し絵に着目することによって、想像を広げながら心情を読み味わうことができるようにする。

### (2) 展開

学習活動	指導上の留意点	身に付けさせたい力	評価の資料
1 前時の活動を振り返り本時の学習のめあてをつかむ。	これまで読み取った思いや挿し絵を手がかりに、エルフとぼくそれぞれの好きなところやよかったところを振り返ることができるようにする。		
2 エルフとぼくの心がつながっているところを見付ける。	前時までのぼく的心情とエルフの様子を書いたカードを比べることによって、心のつながりの深さに気付くことができるようにする。	具体的な表現から想像を広げて読む。  登場人物の心情に注意して読む。	・カードに書いたことば ・発言の様子
3 物語の感想を書く。	感想を書く際の書き出しを示すことによって、自分なりのことばで表現し、物語の世界を味わうことができるようにする。	文の好きなところや、おもしろいところを見付ける。	・感想カードに書かれている内容 ・発言の様子
4 感想を発表し合い、次時の学習に意欲を持つ。	人と動物の心の交流を描いた本の楽しさを実感することによって、動物の物語を読む意欲を高めることができるようにする。		・発言の様子 ・学習の記録に書かれている内容

### (3) 本時の評価

「十分満足できる」状況	登場人物の気持ちを考えながら、物語を読み進めることができ、好きなところやよかったところについての感想や考えをもっている。
「おおむね満足できる」状況にするための指導	挿絵に描かれた場面、人物の様子や表情を手がかりとして示すことによって、登場人物の気持ちを想像したり、好きなところやよかったところを見付けることができるようにする。